

市立美唄病院建替え工事(機械設備)

北海道支店 技術部 副参事 佐々木 一起



建築概要

工事名称：市立美唄病院建替え工事(機械)
所在地：北海道美唄市西2条北1丁目1-1
建築用途：病院
敷地面積：2,387.02 m²(全体)
延床面積：5,989.93 m²(病院棟)、509.05m²(事務棟他)
規模：地上3階、塔屋1階
構造：RC造、S造
工期：2023年3月1日～2024年3月31日
発注者：美唄市
設計：株式会社 大建設計
監理：株式会社 大建設計
施工：建築 ビーエス三菱・近藤・広瀬共同企業体
機械 朝日・道央配管共同企業体
電気 末広屋・永井・伊藤共同企業体

プロフィール

本病院の既存棟は昭和18年の創立以来、約80年間に亘り美唄市及び近隣地域への医療を提供し続けている歴史ある病院です。このような背景のもと、施設の老朽化も進み、昨今の課題である少子高齢化が更に進む中、これからも美唄市民が安心して住み続けることができるよう、病院の建替えが実施されることになりました。

工事の請負契約は、市立美唄病院建替え事業受注コンソーシアムと称する、「異業種コンソーシアム」で結成されており、建設業者(代表会社)・設計事務所・機械設備業者・電気設備業者が同列の構成員となっています。空調方式は診察室・検査・病室は「外調機+パッケージエアコン」、手術室は「外調機+HEPA吹出口+壁吸込エアコン+HEPA付天井吹出エアコン」としています。待合・透析・リハビリ・病室には天井埋込型の「ウィルス抑制装置」を設置し感染低減を行い、そして病室、透析室には「放射整流ユニット」を設置し、患者のドラフト感を低減する、風を感じない空調に寄与しています。

ピクルス茨城工場

東北支店 技術部 副参事 齋藤 祐一



建築概要

工事名称：ピクルス茨城新工場新築工事
所在地：茨城県結城郡八千代町大字菅谷487番4
建築用途：食品工場
敷地面積：15,460m²
延床面積：5,450 m²
規模：地上2階
構造：S造
工期：2024年1月15日～2024年11月30日
発注者：株式会社 ピクルスコーポレーション
設計：株式会社 食品施設計画研究所
監理：株式会社 食品施設計画研究所
施工：建築 株式会社 ナカノフード建設
機械 株式会社 朝日工業社
電気 株式会社 野本電設工業



プロフィール

本工場は、株式会社ピクルスコーポレーション様の人気商品である『ご飯がススムキムチ』の生産拠点として計画されました。工場が新築された茨城県八千代町は原料となる白菜の産地として知られ、町の名産品になっています。

新工場は既存の生産ラインより更に自動化が進んだ工場となっています。当社は生産用冷水設備(モジュールチラー、ブラインチラー)、生産用空調設備(ルーフトップ外調機低温仕様、中温用エアコン、ユニットクーラー)、生産用圧縮空気(空冷コンプレッサー)、一般空調設備(PAC、マルチエアコン、除湿器)、その他熱源(蒸気ボイラー、蒸気瞬間湯沸器)などを設置して、空調・給排水・ユーティリティ設備工事を行いました。

(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備

東関東支店 技術部 副参事 小田島 謙



建築概要

工事名称：(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備
所在地：千葉県印西市中央南一丁目4-1
建築用途：劇場 地方公共団体の支庁又は支所
敷地面積：5,333.93m²
延床面積：7,061.85m²
規模：地上3階
構造：S造
工期：2023年7月31日～2025年2月28日
発注者：千葉NT中央駅前PFI 株式会社
設計：株式会社 安井建築設計事務所
監理：株式会社 安井建築設計事務所
施工：建築 清水建設 株式会社
機械 株式会社 朝日工業社
電気 株式会社 関電工

プロフィール

千葉ニュータウン中央駅圏複合施設は、「健康・福祉」、「子育て」、「文化・芸術」が繋ぐ交流の場を目的とした複合拠点です。また有事の際に利用できる「避難所」として、施設内の「芸術ホール」と近隣の広域避難場所に指定されている「北総花の丘公園」との連携が可能となっています。こちらの公共複合施設では、各種換気の利用人数に応じたインバーター制御、雨水の雑用水再生利用など様々な省エネを採用しています。芸術ホールでは許容騒音値NC-25以下を実現させるため、騒音計算とシミュレーションを綿密に行い、無音に近い音響空間を実現しています。



建築概要

工事名称：太陽インキ製造(株)技術開発センター
 所在地：埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 建築用途：エレクトロニクス事業における技術開発
 敷地面積：約16,323㎡
 延床面積：約10,400㎡
 規模：地上6階
 構造：S造
 工期：2022年11月～2024年2月
 発注者：太陽インキ製造 株式会社
 設計：大成建設 株式会社 一級建築士事務所
 監理：大成建設 株式会社 一級建築士事務所
 施工：建築 大成建設 株式会社
 建築 株式会社 ドラフト
 機械 株式会社 朝日工業社
 電気 株式会社 きんでん

プロフィール

開設された技術開発センターは、施設名称を「InnoValley(イノヴァリー)」といい「革新の渓谷」を意味する造語です。「Innovation(革新)」と施設所在地と施設の特徴にもかかわる嵐山渓谷「Valley」から生まれました。創造と革新の源泉となり、新たなアイデアや製品が流れだす場所を表現し、「自律型人材」育成に向けた人的資本への投資により、半導体関連材料等のグローバルな技術開発力の強化・加速を目指しています。

省エネ効果を評価する「ZEB Ready」の達成、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価する「CASBEE」、「CASBEE-ウェルネスオフィス」でSランクを獲得しています。低層階のラボエリアでは、空冷ヒートポンプチャラーを熱源とし、空調設備は、クリーンルーム系統は外調機+コンパクトAHU、一般実験室系統は外調機+マルチエアコンが採用され、換気設備は、ドラフトチャンパー・研究装置からの局所排気設備などがあり、夜間省エネ運転を含め、室圧風量制御をおこなっています。高層階のオフィスエリアは、省エネ、個別制御などに優れたマルチエアコン+直膨式全熱交換器方式が採用されています。

医療法人 若葉会 西条中央病院増築工事



建築概要

工事名称：医療法人 若葉会 西条中央病院増築工事
 所在地：広島県東広島市西条昭和町12番40号
 建築用途：病院
 敷地面積：9,363.30㎡
 延床面積：1,576.12㎡(増築部)
 規模：地上4階(増築部)
 構造：鉄骨造(増築部)
 工期：2023年2月1日～2024年4月30日
 発注者：医療法人 若葉会 西条中央病院
 設計：株式会社 ゆう建築設計
 監理：株式会社 ゆう建築設計
 施工：建築 松井建設 株式会社
 機械 株式会社 朝日工業社
 電気 株式会社 中電工

プロフィール

西条中央病院は1966年に開院し、内科、外科をはじめ、185の病床と、消化器系疾患、腎臓病(人工透析)、健康診断・人間ドック、訪問診療、訪問リハビリテーションなどの専門外来を擁する地域医療の中核を担う総合病院です。

今回増築した北館(写真右側)には、人工透析室、透析装置・中和装置用の機械室を設置しています。空調設備はビル用マルチエアコン、パッケージエアコンによる個別空調方式、換気設備は全熱交換器、換気扇による第一種換気、第三種換気方式を採用し、透析室では空調・全熱交換器を連動させて、低風速による患者様にやさしい空調としています。給水設備は既設受水槽を利用して新たに加圧給水ポンプを増設し、北館各所及び人工透析装置へ給水しています。排水設備は生活排水と透析排水に分け、透析排水は処理装置(別途工事)を経由し、既設污水管に放流しています。

編集後記

役職員、関係者の皆様、創立100周年、おめでとうございます。新緑に包まれた4月はフレッシュなスタートを切るにピッタリの季節です。本年もテクニカルレターを皆様にお届けすることができとても嬉しく思います。

本号は創立100周年として冒頭のご挨拶に、高須社長、木村技術本部長より皆様へのメッセージを賜りました。

「情熱と技術で、世界をもっと最適に」新しい当社の存在意義 Purposeをご紹介いただき、「信頼され、必要とされる会社」、「オール朝日」と言う目標の大切さを改めて受け止めさせていただきました。拝謝申し上げます。

巻頭の特集では、建築設備を専門とされ、空気調和・衛生工学会会長を務められる、芝浦工業大学建築学部長 秋元孝之教授よりご寄稿いただきました。カーボンニュートラル社会に向けた、建築設備業界の役割、取り組むべき課題やその方向性を改めて認識いたしました。業界の大きな課題として私たちも一丸となって解決に貢献して参りたいと思います。

研究開発からは、技術研究所より現在建設中の「つくば技術研究所」が担う「次世代の環境と新事業の創出」についての抱負と、本年開設40周年を迎える機器事業部からは、これまでに培ってきた「開発技術」をご紹介しました。

テクニカルレポート、フィールドレポートでは、当社が多くの課題に挑戦し続ける、「オンリーワン・カンパニー」を目指す事例を紹介し、将来につながる「情報の共有」をさせていただきました。

このテクニカルレターは皆様のご尽力をいただいて発行されております。本誌に対するご感想、ご意見がありましたら、是非頂戴したいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりますが、掲載記事を執筆いただいた皆様、並びに貴重な情報の提供をいただいたお客様に深く感謝申し上げます。

(技術本部 今泉 圭三)